

令和3年度 小学校学習指導要領（平成29年告示）周知資料

生活科

評価について

福井県教育庁



生活科の評価は
何のためにするの？



① 子どもが自分の学習を振り返り、 次の学習に向かうため

ぼく・わたしの学習の成果は？

何ができるようになったのかな？

まだできないことは？

これから、何をがんばるといいのかな？

自分の学びを
ふりかえる

これからの
学びを考える



② 教師が指導の改善を図るため

これまでの指導の成果は？

これまでの指導で、子どもにどの力が
どのくらい身についた？

まだ身につけていない力は？

どの指導を改善する必要がある？

自分の指導
を
ふりかえる

必要な支援が
見えてくる



子ども一人一人の 学習の成立を 促すため

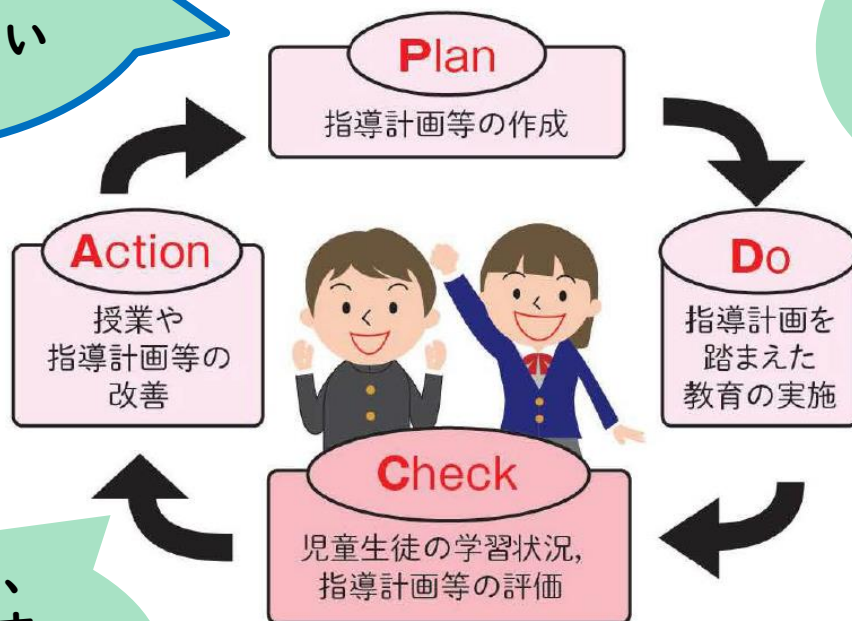
「学習指導」はもちろん、
「学習評価」も
学校の教育活動の根幹

評価が変われば
授業が変わる



目指す姿が
明確でないと
評価できない

目指す姿が
見られたか
評価する



育ちを子どもに返し、
次の学びに生かす

指導の改善に生かす

組織的・計画的に教育活動の質の向上を図る
「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割



評価の観点はどうなったの？

資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて
3観点に整理。

[平成 20 年改訂]

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



[平成 29 年改訂]

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度



生活科の評価は どう進めるの？



評価規準を作り、評価の計画を立てよう！

※内容(7)を例に

(「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料p.44)

単元の目標

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気づき、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にすることができるようにする。

単元の 評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		モルモットを飼育する活動を通して、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている。	モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	モルモットを飼育する活動を通して、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。
1	①モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。		①元気に育てたい、仲良くなりたいという思いや願いをもって、モルモットに関わろうとしている。	
	②モルモットも自分たちと同じように生命をもっていること、成長すること、モルモットに合った世話の仕方があることに気付いている。 ③モルモットを適切な仕方で世話をしている。	①モルモットの変化や成長の様子に着目したり、モルモットの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。	②モルモットに心を寄せ、モルモットの様子に合わせて、繰り返し関わろうとしている。	
2				
3	④モルモットへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。	②モルモットとの関わりを振り返りながら、世話をし気付いたことやモルモットへの思い、自分自身の成長を表現している。	③モルモットとの関わりが増したことに自信をもち、関わり続けようとしている。	

学習対象をモルモットとした単元において育成を目指す「資質・能力」

いつ、どの資質・能力を、どのような評価規準をもとに見取るか

評価規準の作成

学習指導要領解説の「各内容に示された資質・能力に関する記述」を確認し、「具体的な内容のまとめりごとの評価規準（例）」を参考に、小単元の評価規準を作成する。

事前に

- ・ いつ・どの小単元で
- ・ どの資質・能力を
- ・ どのような評価規準をもとに見取るか

を決めておく



小単元における評価規準

授業中の子どもの
何を見ればいいのか？

「知識・技能」は どんな姿を見取るの？

発言やワークシートから
何を見取ればいいのか？



(1) 「知識・技能」

知識

- ①気づきが自覚されること
- ②個別の気づきが相互に関連付くこと
- ③対象のみならず自分自身についての気づきが生まれること
を気づきの質の高まりとして見取ることが大切

(例)

「〇〇に気付いている」、「〇〇が分かっている」など

①②④

知識・技能	
1	①モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。
2	②モルモットも自分たちと同じように生命をもっていること、成長すること、モルモットに合った世話の仕方があることに気付いている。 ③モルモットを適切な仕方で世話をしている。
3	④モルモットへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。

小單元における評価規準



技能 について

(学習指導要領解説生活編P13・14)

思いや願いを実現する過程において
身に付けていくものであることに留意

■生活上必要な習慣■

健康や安全に関わること、
みんなで生活するためのきまりに関わること、
言葉遣いや身体の振る舞いに関わることなど

例

- ・生活のリズムを整える
 - ・安全への意識を高める
 - ・遊びのルールを守る
 - ・時間を守る
 - ・訪問や連絡、依頼の仕方を知る
 - ・病気の予防に努める
 - ・道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができる
 - ・施設や公共の場所のルールやマナーを守る
 - ・適切な挨拶や言葉遣いができる
- など

■生活上必要な技能■

手や体を使うこと、
様々な道具を使うことなど

例

- ・必要な道具を使って遊んだり、物をつくったりする
 - ・手や体、道具を使って掃除ができる
 - ・動物や植物の世話ができる
 - ・電話や手紙などを使って連絡する
- など

		知識・技能
小 単 元 に お け る 評 価 規 	1	①モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。
	2	②モルモットも自分たちと同じように生命をもっていること、成長すること、モルモットに合った世話の仕方があることに気付いている。 ③モルモットを適切な仕方で世話をしている。
	3	④モルモットへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。



授業中の子どもの
何を見ればいいのか？

「思考・判断・表現」は どんな姿を見取るの？

発言やワークシートから
何を見取ればいいのか？



(2) 「思考・判断・表現」

- ①見付ける ②比べる ③たとえる 【分析的に考える】
 ④試す ⑤見通す ⑥工夫する 【創造的に考える】
 など

(例)

・「○○して（しながら），△△している」など

活動において
期待する思考

具体的な児童の姿

- ①見付けて…思い起こして、感じて、
気にしながら、意識しながら
など
- ②比べて…特徴でまとめながら、違いで
分けて、順序を考えながらなど
- ③たとえて…知っていることで表しながら、
関連付けながら、置き換えて、
見立ててなど
- ④試して…実際に確かめながら、調べたり
やってみたりして、練習しながら
など
- ⑤見通して…思い描きながら、予想しながら、
振り返ってなど
- ⑥工夫して…生かしながら、見直してなど

世話をしている
観察している
関わっている
記録している
方法を決めている
表している
集めている
楽しんでいる
交流している
捉えている
知らせている
利用している
伝え合っている
計画を立てている
遊んでいるなど。

具体的な姿から、
教師が思考を
読み取る。

		思考・判断・表現
小 単 元 に お け る	1	
	2	①モルモットの変化や成長の様子に着目したり、モルモットの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。
	3	②モルモットとの関わりを振り返りながら、世話をしている気付いたことやモルモットへの思い、自分自身の成長を表現している。

授業中の子どもの
何を見ればいいのか？

「主体的に取り組む態度」は どんな姿を見取るの？

発言やワークシートから
何を見取ればいいのか？



(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

- ① 「粘り強さ」…思いや願いの実現に向かおうとしている
- ② 「学習の調整」…状況に応じて自ら働きかけようとしている
- ③ 「実感や自信」…意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとするを繰り返す、安定的に行おうとしている

②学習の調整
★教師が調整する学習活動を設定する

など

(例)

・「○○し、△△しようとしている」など

- ①粘り強さ
- ②学習の調整
- ③実感や自信

具体的な児童の姿

		主体的に学習に取り組む態度
小単元における評価規準	1	①元気に育てたい、仲良くなりたいという思いや願いをもって、モルモットに関わろうとしている。
	2	②モルモットに心を寄せ、モルモットの様子に合わせて、繰り返し関わろうとしている。
	3	③モルモットとの関わりが増したことに自信を持ち、関わり続けようとしている。



生活科で

子ども一人一人の学習を

成立させるための

指導と評価の一体化とは？



教師

育てたい子どもの
具体的なゴールの姿をイメージ

毎時間の目的を明確にもつ

ゴールの姿に照らし合わせて
指導・評価する

〇〇を使って
試してみたら？

自分と比べて
考えたんだね！

〇〇の変化に
気づいたら、
先生に教えてね

すごい！
〇〇さんは、△と□の
違いに気づいてるよ！

指導を改善する

子ども

今日の目標を
明確にして学習する

〇〇が
できるよう
なったよ

〇〇さんみたい
もっと工夫して
みたい

次は～を変えて
やってみよう

学びをふり返し、
次の学習に生かす



例えば

どうやって評価するの？



(例) 知識・技能

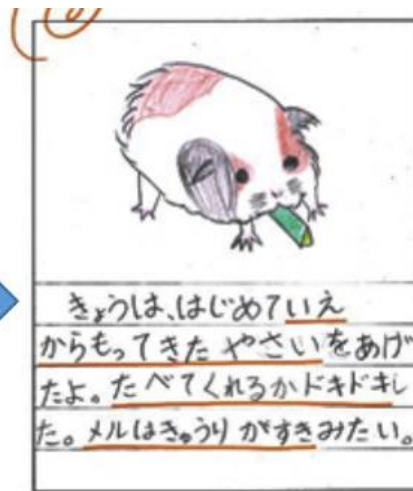
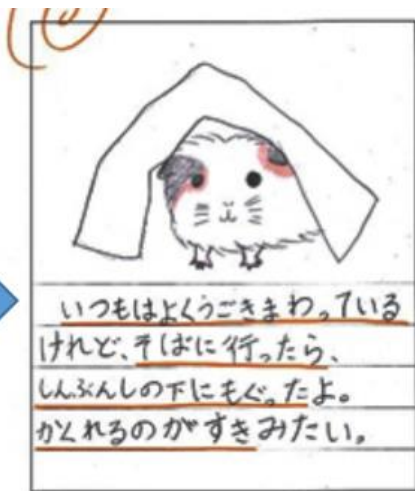
評価規準

モルモットの特徴、
変化や成長の様子
に気付いている

具体的な児童の姿 (評価方法)

- ・ 感触, 身体的特徴, 行動面の特徴, 性格や嗜好など
様々な視点から気付いたことを書いている
- ・ モルモットのしぐさや鳴き声など, 気付いたことを
詳しく書いたり発言したりしている。

観察カードや短冊カードの分析, 発言分析などから



えさがほしくてゲージ
を飛び越えた。「メル
メルジャンプ」だ。

前に〇〇さんが
「ビニル袋の音がす
ると、メルは野菜が
もらえると分かるん
だ。」と言っていたか
ら。



(例) 主体的に学習に取り組む態度

評価規準

モルモットとの関わりが増したことに
自信をもち、関わり
続けようとしている



具体的な児童の姿(評価方法)

- ・ モルモットとの関わりを通して得られた**喜びや自信**を表現している。
- ・ 生き物に対して、**これからも大切にしたり関わり続けたいという気持ち**を表現している。

行動観察, 発言分析, 作品(モルモットの本)などから

ぼくは、メルからやってみる心とかんは
る心をもりました。せいしよはだ、こでまな
かたけと、友だちが"か"っているのを見たか、
てみようかなと思いました。せいしよはし、いよいを
しました。つぎに、手ぶくろをつけてやってみました。
手ぶくろをつけたかやりました。今で"は手ぶ"
くろないでもでまます、こんと"はほかの生き物
のもをせおしてみたいです。

休み時間にモルモットを見
に来た1年生に対して、自
分の経験を基に抱っこの方
方を説明していた。怖がる1
年生には手袋をつけてモ
ルモットを触ることを勧めた
り、「慣れると抱っこできる
ようになるよ。」と励ましたり
していた。

思いや願いの実現に
向かって活動する
児童の多様な姿を、
行動観察や作品、
発言分析を通して
見取る。



言語での表現が 苦手な子どもたちの評価

活動や体験中の

対象に
自ら働きかける姿

表情

しぐさ

言語以外の部分で見取る

様々な視点や方法で評価

